

小児科学

責任者： 千田 勝一 教授

教育成果（アウトカム）：

各年齢の小児の面接および診察ができる。さらに問題を正しく把握し、情報を統合して診断へのアプローチ、治療計画の作成ができる。

行動目標（SBOs）：

1. 態度
 - * 小児やその家族と好ましい信頼関係を作ることができる。
2. 基本的臨床技能
 - * (1) 各年齢の小児の面接および診察ができる。
 - * (2) 問題解決志向型病歴の記載ができる。
 - * (3) 基本的な検査・治療の要点を述べることができる。
 - * (4) 問題を正しく把握し、情報を統合して診断へのアプローチ、治療計画の作成ができる。
3. 分野別
 - * (1) 成長、発達、栄養の評価ができる。
 - * (2) 保健計画（マススクリーニング、予防接種、事故防止、乳幼児健診、学校検診など）をたて、その中で異常が発見された時の対応について概略が言える。
 - (3) 主要症候の中から救急疾患を判別できる。
 - * (4) 新生児の一般的管理について述べることができる。
 - * (5) 脱水症、電解質異常、酸塩基平衡障害の診断と治療を述べることができる。
 - (6) 先天異常、内分泌・代謝、アレルギー・免疫・膠原病、感染症、呼吸器、循環器、消化器、血液・腫瘍、泌尿・生殖器、神経・筋の主要疾患について診断と治療を述べることができる。
 - (7) 精神疾患、心身医学的問題の診断と生活指導について知識がある。
 - * (8) total careとterminal careの知識がある。

特に留意すべき注意事項：

1. 臨床実習は、指導医につきマンツーマンで新生児集中治療室（NICU）、小児病棟、循環器センターで行う。以下の指導医が対応し、学生が希望する領域を1週ずつ選択する（指導医が不在のときは括弧内の医師が担当する）。また、実習中の1日は外来実習としてcommon diseaseと小児保健を学習するために、盛岡市内又は近隣の小児科診療所で実習する。
 - (1) NICU
指導医：松本（外館・小西）、領域：新生児

(2) 小児病棟

指導医：遠藤、領域：小児血液・腫瘍など

指導医：亀井（赤坂、荒谷）、領域：小児神経・筋など

指導医：佐々木、領域：小児消化器など

指導医：石川（高田、古川）、領域：小児腎泌尿・生殖器など

(3) 循環器医療センター

指導医：小山（高橋（信）、早田）、領域：小児循環器

2. 聴診器は各自が持参する。
3. 感染症（かぜや手の感染）に罹患している場合は、必ず指導医に申し出る。
4. NICU 入室に際しては、白衣を肘までまくって（半袖の白衣が望ましい）十分に手洗いをする。また、診察を行う際は、感染防止のためその都度手洗いをして個別の聴診器を使う。
5. 循環器センターの実習者は、月曜日に循環器センター4階の医局で指示を受ける。

事前学修時間：

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

第5学年臨床実習スケジュール[小児科学]

[第1週]

指導医師名：①千田勝一教授 ②小山耕太郎教授 ③遠藤幹也准教授 ④亀井淳特任准教授 ⑤佐々木美香非常勤講師 ⑥高橋信講師 ⑦石川健講師
 ⑧赤坂真奈美特任講師 ⑨松本敦助教 ⑩外館玄一朗助教 ⑪早田航助教 ⑫高田彰助教 ⑬和田泰格助教 ⑭佐々木朋子助教 ⑮小西雄助教
 ⑯古川ひろみ助教 ⑰荒谷菜海助教（任期付）

曜	1時限	2時限	3時限	4時限
月	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ [指導医] ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰
火	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	総回診 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	ベッドサイド実習、カンファランス [病棟、循環器4F] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰
水	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰
木	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰
金	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰

[第2週]

指導医師名：①千田勝一教授 ②小山耕太郎教授 ③遠藤幹也准教授 ④亀井淳特任准教授 ⑤佐々木美香非常勤講師 ⑥高橋信講師 ⑦石川健講師
 ⑧赤坂真奈美特任講師 ⑨松本敦助教 ⑩外館玄一朗助教 ⑪早田航助教 ⑫高田彰助教 ⑬和田泰格助教 ⑭佐々木朋子助教 ⑮小西雄助教
 ⑯古川ひろみ助教 ⑰荒谷菜海助教（任期付）

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ [指導医] ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰
火	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	総回診 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰	ベッドサイド実習、カンファラ ンス [病棟、循環器 4F] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰
水	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰
木	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰
金	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰	ベッドサイド実習 [病棟] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
実習用機械	脳、心臓、腎臓模型	各1台	解剖理解の実習用として利用
実習用機械	小児蘇生モデル	1台	気管内挿管の蘇生手技修得に利用
実習用機械	コンピューター心臓心電計	2台	心電図測定の実習用として利用
実習用機械	ベッドサイドテレメーターシステム	1台	臨床実習に使用
実習用機械	高性能乳児医療トレーニングシミュレーター	1台	臨床実習に使用
診断用機械	血液ガス分圧測定器	1台	血液ガス、酸塩基平衡の理解
診断用機械	Na・K測定器	1台	電解質バランスの理解
診断用機械	総ビリルビン、遊離ビリルビン測定	1台	ビリルビン代謝の理解
診断用機械	呼吸・心拍・血圧・経皮酸素分圧・二酸化炭素分圧同時測定装置	3台	集中管理のモニタリングの理解
診断用機械	経皮酸素分圧測定器	15台	非侵襲的モニタリングの修得
診断用機械	酸素飽和度測定器	10台	非侵襲的モニタリングの修得
診断用機械	無呼吸回復装置	5台	新生児の無呼吸発作の理解
診断用機械	保育器（光線療法付）	26台	新生児の体温管理の学習
診断用機械	人工呼吸器	16台	呼吸不全時の呼吸管理の修得
診断用機械	呼吸心拍モニター	30台	集中管理のモニタリングの理解
診断用機械	血液細胞分離装置	1台	成分輸血、血漿交換について理解
診断用機械	内視鏡	1台	消化器病変を視覚で理解
診断用機械	層流式無菌装置	2台	血液・腫瘍疾患の感染症防御の学習
診断用機械	脳波計	1台	意識障害・けいれん発作時の脳波の理解
視聴覚用機械	PC一式（AmphisVaive2800DVR）	1台	臨床実習における画像呈示に使用
視聴覚用機械	デジタルカメラシステム（DFC280）	1台	臨床実習における画像呈示に使用
視聴覚用機械	コードレス聴診教育システム一式（HI-STETHO Aセット）	1台	臨床実習における症例検討
その他	複写機（ImagioNEOC455）	1台	講義資料作成用
その他	複写機 DocuPrint（C526A）	1台	臨床実習資料配布
視聴覚用機械	ノートパソコン（DYNABOOK）	一式	臨床実習小講義用
視聴覚用機械	DVDレコーダー（DMR-XP11）	一式	ビデオ講義用
視聴覚用機械	ノートPC（vaio type S プレミアムバージョン）	1台	教材作成用
視聴覚用機械	電子辞書（XDGP5900MED）	1台	学生の学習用
視聴覚用機械	パソコン（VGN-CR92HS）	1台	学生の学習用

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について100点満点で評価する。

1. 出席点：20点
2. 実習評価1（教員による学生評価シートⅠ）：10点
3. 実習評価2（教員による学生評価シートⅡ）：20点
4. 実習初日試験：25点
5. 国家試験問題形式の口頭試問：25点